競技・ハンディキャップ委員会議事録

競技・ハンディキャップ委員長　　岡田　孝之

日　時：令和 7 年 12 月 14 日　10：00～12：30

①　　競技・ハンディキャップ委員新任について
　→望月委員　　：2025 年 9 月より競技・ハンディキャップ委員就任

②　　2026 年　競技当番表について報告
　→別紙参照

③　　シニア選手権マッチプレー化について
　→前回継続審議となっていたシニア選手権マッチプレー化の件について
　【◎決定事項】
　　➔ 今年のシニア選手権予選参加者へマッチプレー化に関してのアンケートを行ったところ以下の結果となった。
　　43 名中　・・・　賛成 25 名　　反対 14 名　どちらでも良い 4 名
　　賛成多数だった為、令和 9 年度シニア選手権よりマッチプレー化とし、以下のルールで行う。

　　●一日目：18 ホールストロークプレー　予選通過者 16 名。

　　●二日目：【一回戦　**（セルフ）】**
　　・キャディを 8 名揃えることが困難なためセルフプレーとする。
　　・トップスタート（東コーススタート：4 組　西コーススタート：4 組）を 6：30 スタートとする。ハーフプレーを例年のクラブ選手権では 1 時間 30 分以内で回れているので、一般のお客様の予約枠を 8：30 からとし、折り返し後の 9 ホールも一般のお客様がいない状況を作る。（パスの必要がなくなるのでセルフプレーでも問題ない）

　　【二回戦　**（キャディ付き）】**
　　・例年のクラブ選手権同様、対戦相手が決定した 30 分後に二回戦目をスタートする。東コースと西コースの一般のお客様に割り込んでスタートしていく。キャディ

付きなのでパスも行う。

●三日目：【準決勝・決勝　**（キャディ付き）】**

・準決勝と決勝を同日で行う場合、一回戦と同様 6：30 分スタートとする。

④　平日杯開催の曜日について

→前回継続審議となっていた平日杯開催の曜日の件について

■⇒11 月開催の平日杯にて平日杯開催曜日変更に関してのアンケートを行ったところ以下の結果となった。

31 名中　・・・　賛成 3 名　　反対 24 名　どちらでも良い 4 名

結果は反対多数ではあったが平日杯参加者からのみアンケートを取るのは公平ではないという意見も出た為、今後ホームページ等を利用しより多くのプレイヤーから意見を聞くことが出来る様、クラブ側で検討をする。

⑤　クラブチャンピオン専用駐車場の設置について

→前回継続審議となっていたクラブチャンピオン専用駐車場の設置について

【◎決定事項】

➔ クラブ選手権優勝から 1 年間利用が可能。
クラブハウス横へ専用駐車場の設置をする。

⑥　グランドシニア選手権について

→古賀委員よりグランドシニア選手権について他の 4 大競技同様、2 週に渡り 36 ホールストロークプレーにするのはどうかという意見を受けた。

■⇒予選参加者の少なさや、決勝進出者の人数、参加者の体力面など議論する点が多い為継続審議とする。5 月の委員会に持ち越し。

⑦　予選を伴う競技での決勝のキャンセルについて

→間宮委員より予選を伴う競技にて決勝をキャンセルした際の対応を改善することはできないかという意見を受けた。

【◎決定事項】

➔ 来年度より予選を伴う競技にて決勝進出者の中でキャンセルが出た場合、
次点上位者から繰り上がりで決勝進出とし、期限は決勝日前日の 12 時まで

とする。
クオリファイ賞の贈呈は決勝をプレーしたプレイヤーにのみ贈呈とする。
マッチプレー競技にて予選通過者がキャンセルをした場合、次点上位者から繰り上がりで予選通過者を決定し、予選通過者がキャンセルをした枠に入り1回戦を行う。

⑧　予選を伴う競技での参加資格変更について

→松本委員より予選を伴う競技での参加資格について、理事長杯同様『前年度の競技から当年の競技までの間で3回以上の競技に参加しなくてはならない』という資格に変更をするのはどうかという意見を受けた。

【◎決定事項】

➔ 来年度の5大競技より理事長杯同様『前年度の競技から当年の競技までの間で3回以上の競技に参加しなくてはならない』という資格に変更をする。
ただし前年度の優勝者に関してはこの限りではない。

⑨　担当競技委員の当日競技参加について

→吉田理事長より競技当日、担当競技委員はその競技の最終組で競技に参加することはできないかという意見を受けた。

【◎決定事項】

➔ 競技中のルール問題等が発生した場合の対応や、B クラスの競技スタート時の案内後にAクラスの最終組への競技参加は時間的に間に合わない場合がある為、従来通りとする。

⑩　競技時のローカルルール採用について

→老山委員より競技時に暫定球を打たずにOB・ロストボールが判明した場合、プレイヤーの負担軽減の為、元の位置へ戻らずに救済を受け対応することはできないかというご提案を頂いた。

【◎決定事項】

➔ 救済の採用をすると個々による解釈の違いが生まれ、公平さにかけてしまう、かえって混乱を招いてしまう可能性がある為、従来通りとする。

⑪　ステータスシンボルの充実について

→老山委員より競技成績優秀者の栄誉を称える為、チャンピオン専用ロッカーの設置やネームタグの作成をするのはどうかという意見を受けた。

■⇒施設や経費の問題がある為、機会をみてクラブ側で検討する。

＜その他＞

→間宮委員より現役で働く競技参加希望者が予約開始日の午前 9 時 30 分に電話で予約を取り続けることが困難である為、予約方法の改善はできないかという意見を受けた。

■⇒システム上の問題が多々ある為、クラブ側で予約の方法や予約開始時間の変更を今後検討していく。

※次回の競技・ハンディキャップ委員会は、2026 年 5 月 6 日（水）開催予定。

以上